

第六期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険 事業計画策定のためのアンケート調査結果 (中間報告)

※ アンケート最終結果報告へ向けての予定(10月予定)

今回のアンケート概要報告は、全体ベースの集計(単純集計)をもとに報告を行ったものですが、今後の最終的なアンケート報告書作成にあたっては、地域別や要介護度別等の集計(クロス集計)を行うなど、より詳細な分析を加えとりまとめます。

特に、①及び②の日常生活圏域ニーズ調査については、国のモデル調査票を基本に実施しており、地域包括ケア推進のためには、日常生活圏域単位での高齢者の状態像・ニーズ、つまり、「どこに」、「どのような支援を必要としている高齢者が」、「どの程度生活しているのか」等をまず把握することが重要であるため、本市における8圏域別の集計等を行い、分析を行います。

その他の調査についても、今後の介護保険や高齢者に関する施策ニーズ等を把握するため、必要に応じてクロス集計・分析を行い、総合的に判断するための基礎資料として活用できるようにとりまとめます。

平成26年8月

帯広市

目 次

1	調査の目的.....	1
2	調査の概要.....	1
3	結果の概要.....	3
	①：日常生活圏域高齢者ニーズ調査（要介護度2以下）.....	3
	②：日常生活圏域高齢者ニーズ調査（一般高齢者）.....	9
	③：介護サービス利用状況実態調査（利用者）.....	15
	④：介護サービス利用状況実態調査（未利用者）.....	17
	⑤：介護サービス利用状況等調査（要介護高齢者）.....	20
	⑥：事業所における介護労働実態調査.....	22
	⑦：介護労働者の就業実態と就業意識調査.....	23
4	まとめ（比較等含む）.....	25

1 調査の目的

要支援及び要介護認定者、65歳以上の一般高齢者等の生活状況、サービスの利用・未利用状況、今後の利用意向等を把握するとともに、介護事業所、労働者状況を把握し、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための基礎資料とすることを目的に調査しました。調査対象者は下記のとおりです。

2 調査の概要

各調査の対象者、配布数、回収結果は次のとおりです。

調査の種別	対象者	配布数	有効回収数	有効回収率
① 日常生活圏域ニーズ調査(要介護度2以下)	平成26年4月末現在、市内にお住まいの要支援・要介護認定1、2を受けている方	2,327	1,490	64.0%
② 日常生活圏域ニーズ調査(一般高齢者)	平成26年4月末現在、市内にお住まいの65歳以上の方	2,370	1,577	66.5%
③ 介護保険サービス利用状況実態調査(利用者)	平成26年4月末現在で要介護・要支援認定者で、かつ居宅介護サービスを過去6か月間に利用実績のある方	985	576	58.5%
④ 介護保険サービス利用状況実態調査(未利用者)	平成26年4月末現在で要介護・要支援認定者で、かつ居宅介護サービスを過去6か月間に利用実績のない方	937	537	57.3%
⑤ 介護サービス利用状況等調査(要介護高齢者)	平成26年4月末現在、市内にお住まいの要介護認定3～5を受けている方	974	576	59.1%
⑥ 事業所における介護労働実態調査	帯広市に所在する事業所	97	69	71.1%
⑦ 介護労働者の就業実態と就業意識調査	同上に従事する介護労働者	2,490	1,179	47.3%

○本調査報告書の基本的な事項について

・回答率(%)について

回答率(%)は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

・図表の記載にあたっての選択肢について

本報告書における図表の記載にあたっては、調査票の選択肢の文言を一部簡略化している場合がある。

- 集計結果の掲載順序について
本報告書では、調査ごとに集計結果を掲載している。
なお、本報告書では、調査結果のすべてを掲載しておらず、主要なもののみ掲載している。
- 「n＝」の表示について
グラフ内の「n＝」は、回答者数をあらわしている。

3 結果の概要

①：日常生活圏域高齢者ニーズ調査（要介護度2以下）

（1）あなたのご家族や生活状況について

① 家族構成（問1）

○ 家族構成については、「家族など同居」が 55.6%、「一人暮らし」が 31.1%、「その他」が 11.8%となっている。

② 同居家族の続柄（問1-1②）

○ 同居家族の続柄は、「配偶者」(53.9%) が最も多く、次いで「息子」(31.0%)、「娘」(24.8%)、「子の配偶者」(21.4%)、「孫」(14.7%) となっている。

③ 日中1人になる頻度（問1-2）

○ 日中1人になることがあるかについては、「たまにある」が 52.9%、「よくある」が 32.2%、「ない」が 12.8%となっている。

④ 日常生活での介護・介助の必要性（問2）

○ 日常生活での介護・介助の必要性については、「何らかの介護を受けている」が 70.5%、「介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 13.2%、「介護・介助は必要ない」が 11.4%となっている。

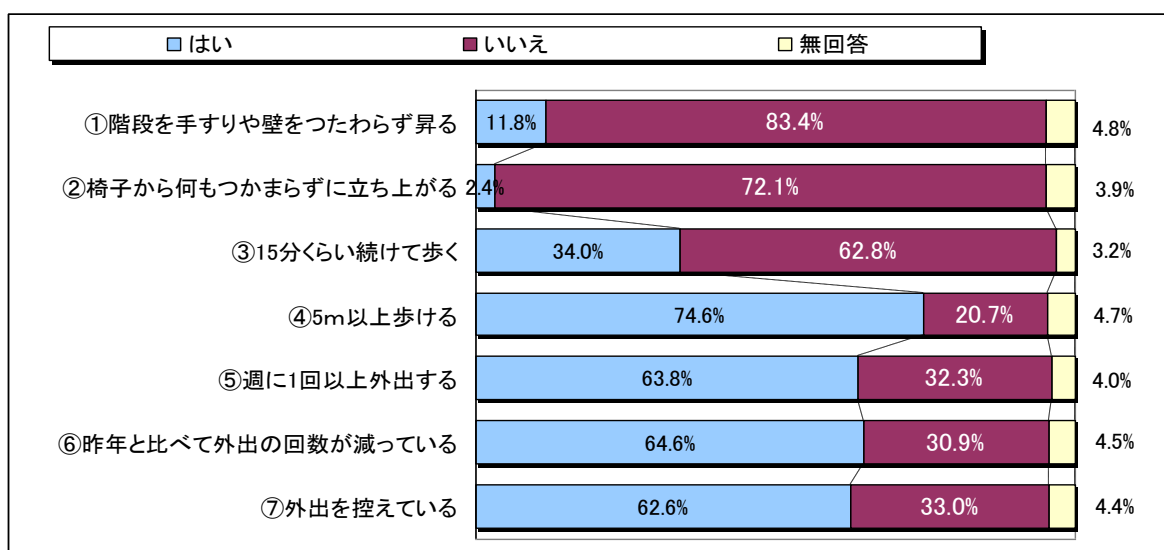
⑤ 介護・介助が必要になった主な原因について（問2-1）

○ 介護・介助が必要になった主な原因については、「高齢による衰弱」(30.2%) が最も多く、次いで「認知症」(19.8%)、「脳卒中」(18.9%)、「骨折・転倒」(18.8%)、「心臓病」(17.1%)、「糖尿病」(14.0%) となっている。

（2）運動・外出について

① 運動・外出（問8）

○ 運動・外出については、下図のとおりとなっている。



② 買い物の頻度（問 9①）

- 買い物の頻度については、「週 1 日未満」(37.1%)が最も多く、次いで「週 1 日」(17.9%)、「週 2、3 日」(15.0%)、「週 4、5 日」(3.0%)、「ほぼ毎日」(1.8%) となっている。

③ 散歩の頻度（問 9②）

- 散歩の頻度については、「週 1 日未満」(34.7%)が最も多く、次いで「週 2、3 日」(15.0%)、「週 1 日」(9.8%)、「ほぼ毎日」(8.5%)、「週 4、5 日」(5.8%) となっている。

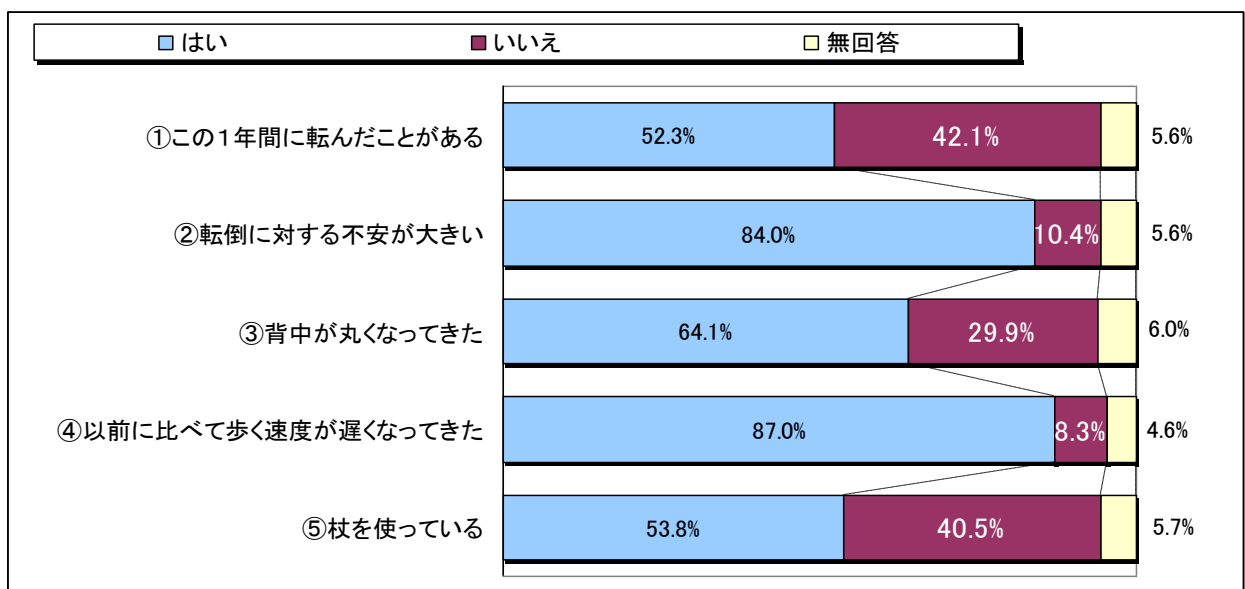
④ 外出の際の移動手段（問 10）

- 外出の際の移動手段については、「自動車（人に乗せてもらう）」(49.1%)が最も多く、次いで、「タクシー」(41.9%)、「徒歩」(23.7%)、「病院や施設のバス」(19.5%)、「路線バス」(14.2%) となっている。

(3) 転倒予防について

① 転倒予防について（問 11①～⑤）

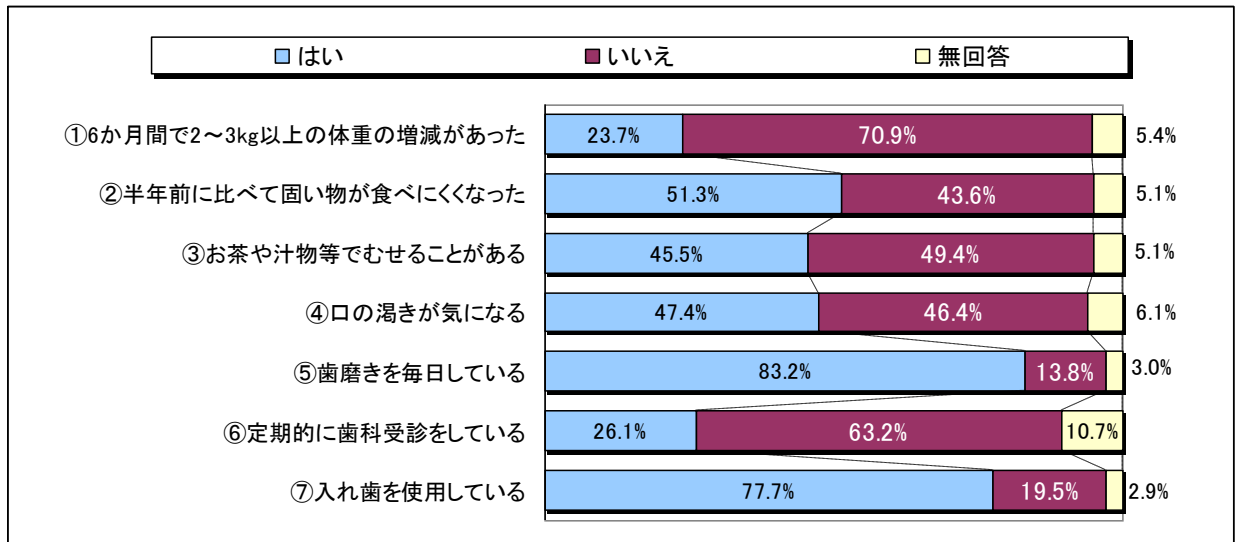
転倒予防については、下図のとおりとなっている。



(4) 飲み込みや歯について

① 飲み込みや歯について (問12①~⑦)

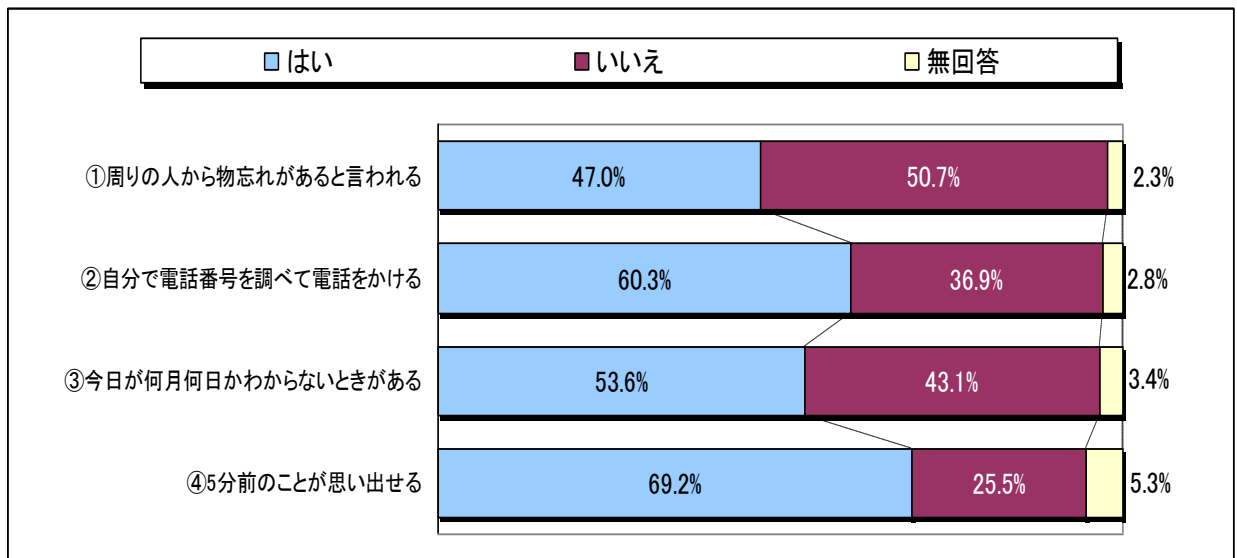
○ 飲み込みや歯については、下図のとおりとなっている。



(5) 物忘れについて

① 物忘れについて (問16)

○ 物忘れについては、下図のとおりとなっている。



② その日の活動を判断できるかについて (問17)

○ その日の活動を自分で判断できるかについては、「困難なくできる」(45.9%)が最も多く、次いで「いくらか困難であるが、できる」(38.6%)、「他人からの合図や見守りが必要」(9.5%)、「ほとんど判断できない」(3.4%)となっている。

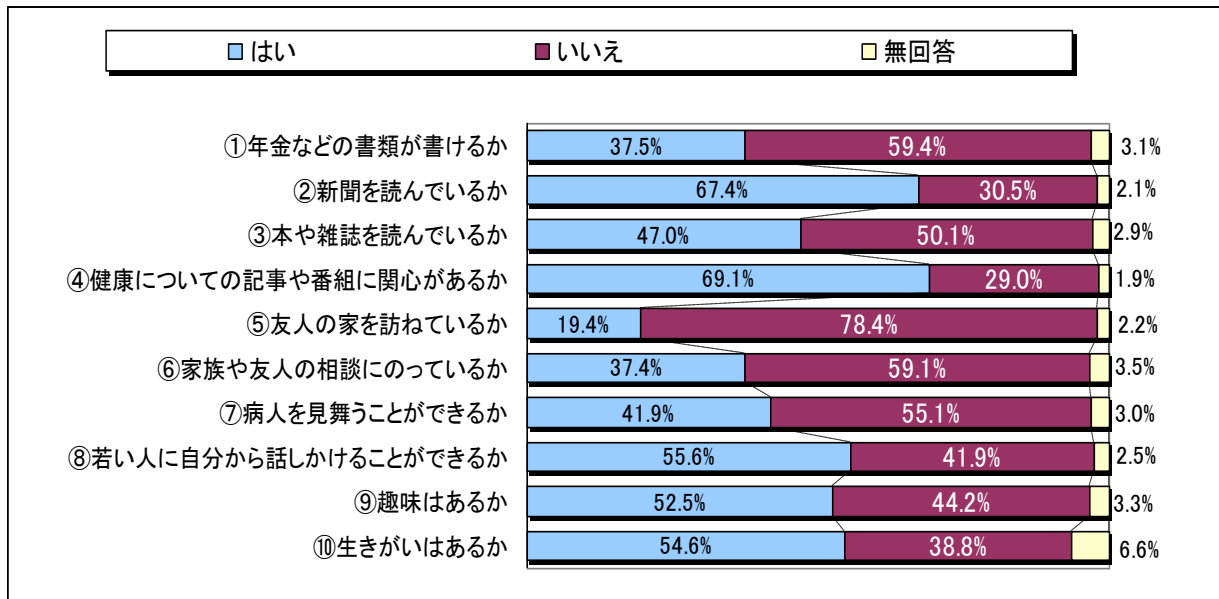
③ 自分の考えをうまく伝えられるかについて（問18）

- 人に自分の考えをうまく伝えられるかについては、“伝えられる”（「伝えられる」(45.0%)、「いくらか困難であるが、伝えられる」(40.9%)の合計)は85.9%、一方、“伝えられない”（「あまり伝えられない」(9.4%)、「ほとんど伝えられない」(2.2%)の合計)は11.6%となっている。

(6) 社会参加について

① 社会参加について（問37）

- 社会参加については、下図のとおりとなっている。



(7) 健康について

① 自分で健康だと思うか（問43）

- 自分で健康だと思うかについては、“健康”（「とても健康」(2.3%)、「まあまあ健康」(35.9%)の合計)は38.2%、一方、“健康でない”（「あまり健康でない」(33.2%)、「健康でない」(24.5%)の合計)は57.7%となっている。

② 現在治療中または後遺症のある病気について（問44）

- 現在治療中または後遺症のある病気については、「高血圧」(45.6%)が最も多く、次いで「筋骨格の病気」(31.0%)、「目の病気」(30.7%)、「心臓病」(24.7%)、「糖尿病」(19.2%)となっている。

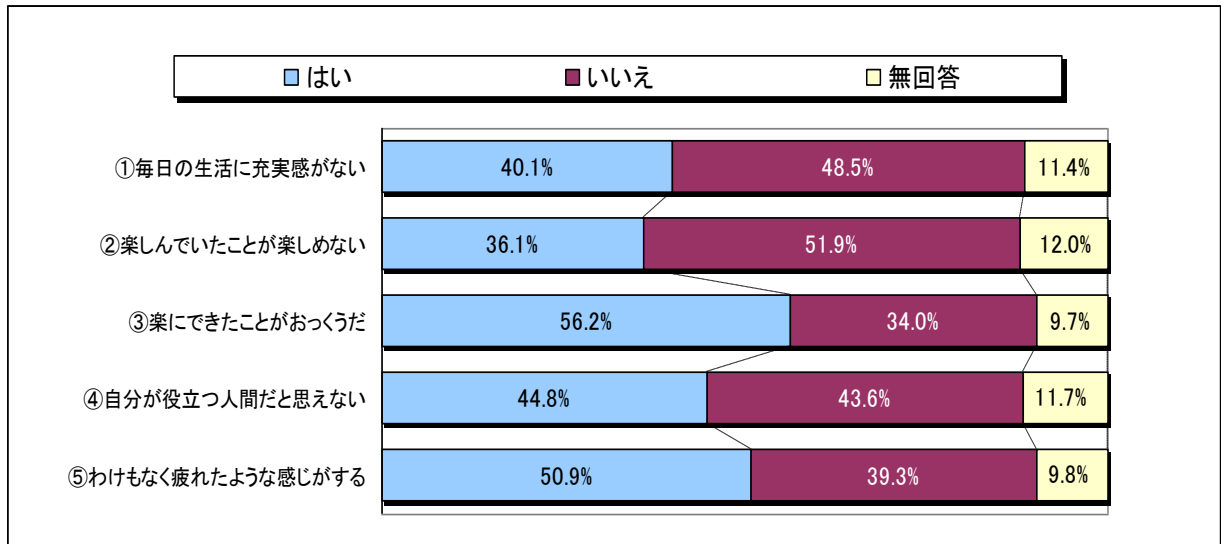
③ 病院・医院に通院しているか（問46）

- 病院・医院に通院しているかについては、「はい」が94.5%、一方、「いいえ」が3.6%となっている。

(8) 心の健康について

① 心の健康について (問49)

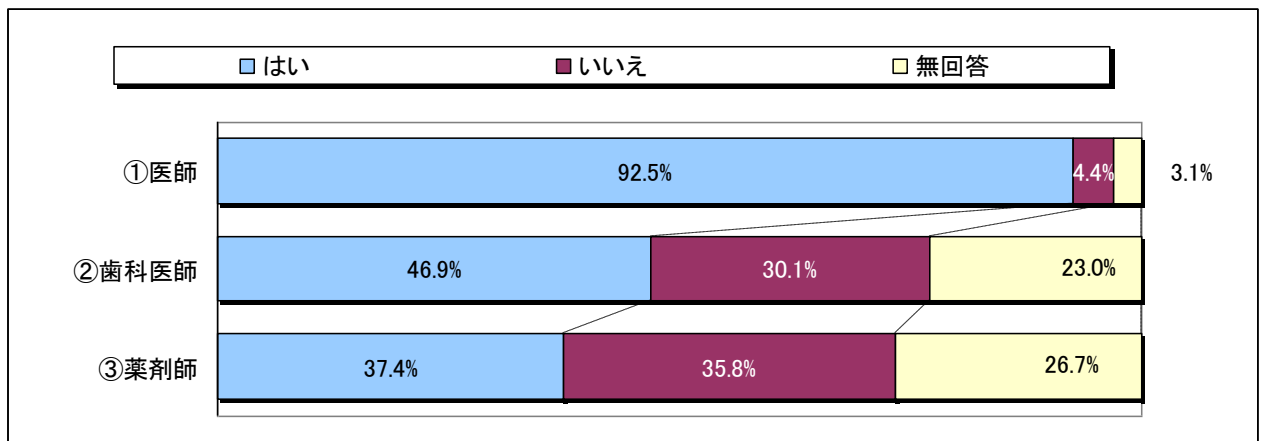
○ 心の健康については、下図のとおりとなっている。



(9) かかりつけ医について

① 普段から治療を受けたり、日常の健康相談・指導を受けることができる、かかりつけの医師等がいるか (問50)

○ かかりつけの医師等がいるかどうかについては、下図のとおりとなっている。



② 自宅で訪問診療を受けているか (問51)

○ 自宅で訪問診療を受けているかについては、「受けていない」が 89.9%、一方、「受けている」が 6.0%となっている。

(10) 要介護度について

① 現在の要介護度 (問52)

○ 要介護度は、「要介護1」(24.2%)が最も多く、次いで「要支援1」(24.1%)、「要支援2」(22.4%)、「要介護2」(20.0%)、「わからない」(2.3%)となっている。

② 要介護度は1年前と比べてどうか（問53）

- 要介護度は1年前と比べて、「変わらない」(47.4%)が最も多く、次いで「以前より重くなった」(23.8%)、「以前より軽くなった」(9.1%)、「1年前は判定を受けていなかった」(5.1%)、「わからない」(3.8%)となっている。

(11) 成年後見制度について

① 成年後見制度について（問55）

- 成年後見制度については、「知らない」が51.9%、一方、「知っている」が38.5%となっている。

② 成年後見制度の利用意向（問55-1）

- 成年後見制度の利用意向については、「利用したいと思わない」が55.5%、「利用したいと思う」が12.6%となっている。なお、「わからない」は30.2%となっている。

(12) 日常生活自立支援事業について

① 日常生活自立支援事業について（問56）

- 日常生活自立支援事業については、「知らない」が57.0%、一方、「知っている」が32.2%となっている。

② 日常生活自立支援事業の利用意向（問56-1）

- 日常生活自立支援事業の利用意向については、「利用したいと思わない」が48.1%、「利用したいと思う」が22.7%となっている。なお、「わからない」は27.9%となっている。

(13) 地域包括支援センターについて

① 地域包括支援センターについて（問57）

- 地域包括支援センターについては、「知らない」が47.2%、一方、「知っている」が41.5%となっている。

② 担当の地域包括支援センターについて（問57-1）

- 担当の地域包括支援センターについては、「知っている」が84.8%、「知らない」が12.4%となっている。

③ 地域包括支援センターを何で知ったか（問57-2）

- 「地域包括支援センターの事業等の活動」(32.6%)が最も多く、次いで「知人等、人から聞いた」(24.4%)、「その他」(19.5%)、「チラシ」(9.9%)、「ホームページ」(1.9%)となっている。

④ 地域包括支援センターの名称変更について（問58）

- 「必要である」が18.5%、「必要でない」が13.5%、「どちらでもない」が43.6%となっている。

②：日常生活圏域高齢者ニーズ調査（一般高齢者）

(1) あなたのご家族や生活状況について

① 家族構成（問1）

○ 家族構成については、「家族など同居」が 82.2%、「一人暮らし」が 15.3%、「その他」が 1.1%となっている。

② 同居家族の続柄（問1-1②）

○ 同居家族の続柄は「配偶者」（84.7%）が最も多く、次いで「息子」（21.0%）、「娘」（15.1%）、「孫」（9.2%）「子の配偶者」（7.9%）、「その他」（2.5%）、「兄弟・姉妹」（0.8%）となっている。

③ 日中1人になる頻度（問1-2）

○ 日中1人になることがあるかについては、「たまにある」が 48.6%、「よくある」が 31.1%、「ない」が 18.2%となっている。

④ 日常生活での介護・介助の必要性（問2）

○ 日常生活での介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」が 84.4%、「介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 5.8%、「何らかの介護を受けている」が 3.7%となっている。

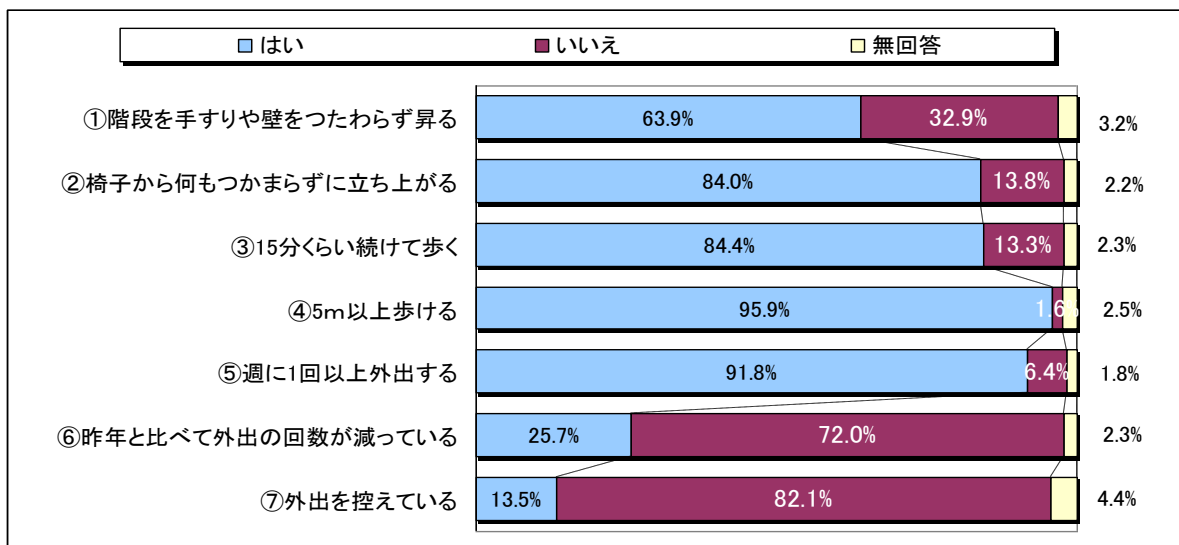
⑤ 介護・介助が必要になった主な原因について（問2-1）

○ 介護・介助が必要になった主な原因については、「高齢による衰弱」（16.7%）が最も多く、次いで「心臓病」・「関節の病気」（同率 14.7%）、「呼吸器の病気」（11.3%）となっている。

(2) 運動・外出について

① 運動・外出（問8）

○ 運動・外出については、下図のとおりとなっている。



② 買い物の頻度（問 9 ①）

- 買い物の頻度については、「週 2、3 日」(39.1%)が最も多く、次いで「ほぼ毎日」(18.5%)、「週 1 日」(15.8%)、「週 4、5 日」(14.0%)、「週 1 日未満」(7.4%) となっている。

③ 散歩の頻度（問 9 ②）

- 散歩の頻度については、「ほぼ毎日」(30.7%)が最も多く、次いで「週 2、3 日」(19.7%)、「週 1 日未満」(16.7%)、「週 4、5 日」(12.7%)、「週 1 日」(7.7%) となっている。

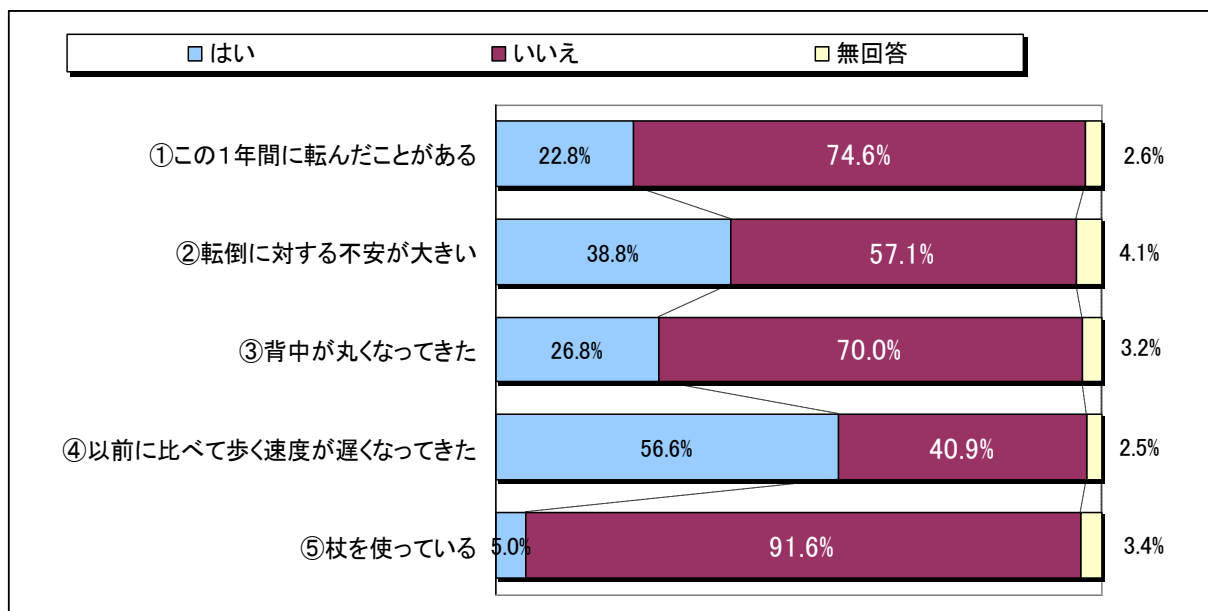
④ 外出の際の移動手段（問 1 0）

- 外出の際の移動手段については、「自動車（自分で運転）」(58.2%)が最も多く、次いで「徒歩」(45.1%)、「路線バス」(30.4%)、「自転車」(27.0%)、「自動車（人に乗せてもらう）」(23.3%) となっている。

(3) 転倒予防について

① 転倒予防について（問 1 1 ①～⑤）

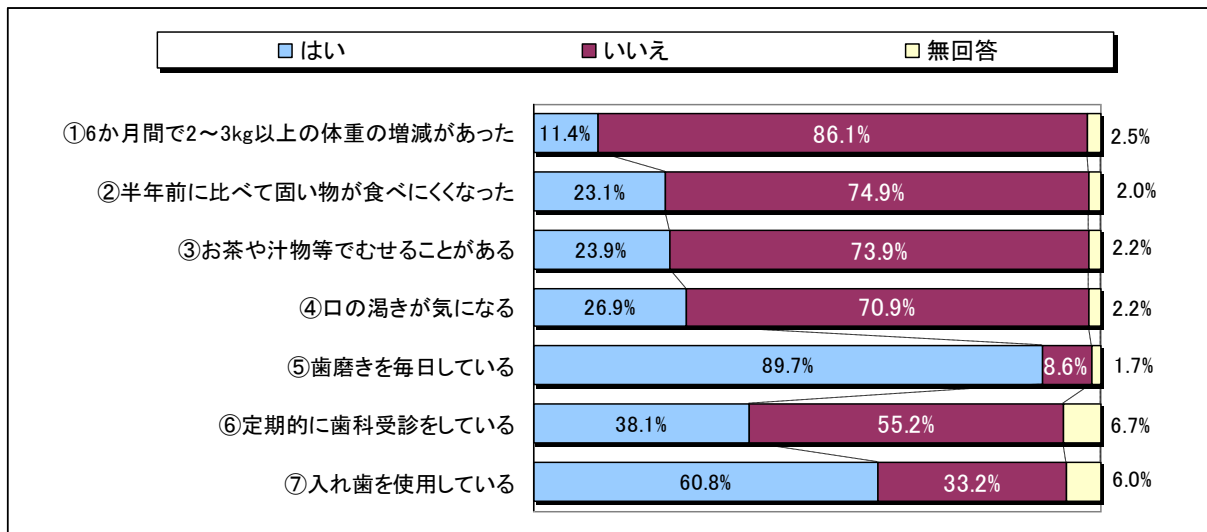
- 転倒予防については、下図のとおりとなっている。



(4) 飲み込みや歯について

① 飲み込みや歯について (問12①~⑦)

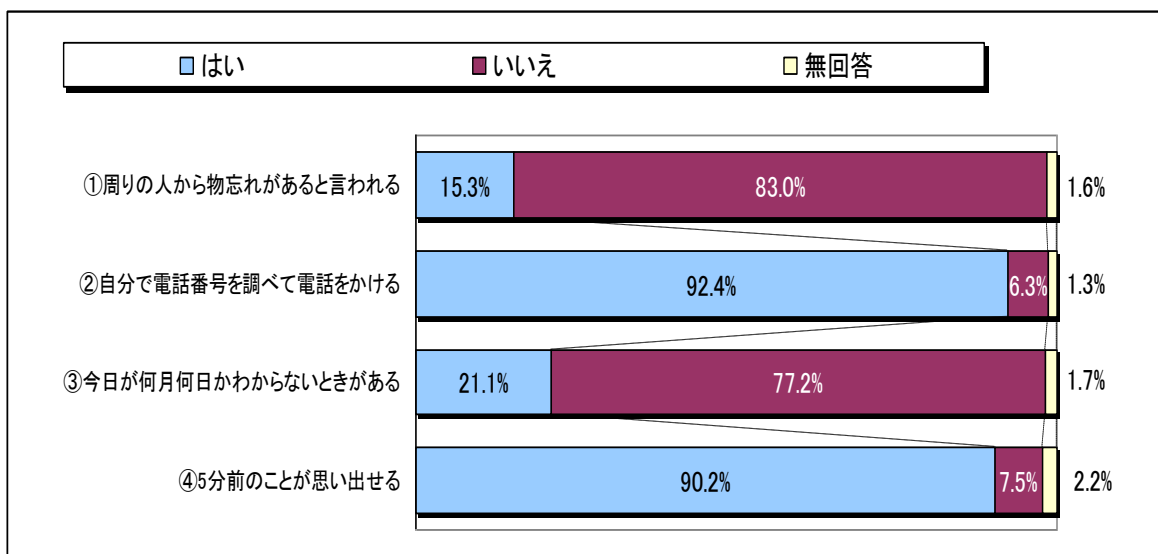
○ 飲み込みや歯については、下図のとおりとなっている。



(5) 物忘れについて

① 物忘れについて (問16)

○ 物忘れについては、下図のとおりとなっている。



② その日の活動を判断できるかについて (問17)

○ その日の活動を自分で判断できるかについては、「困難なくできる」(91.6%)が最も多く、次いで「いづらか困難であるが、できる」(6.0%)、「ほとんど判断できない」(0.4%)、「他人からの合図や見守りが必要」(0.4%)となっている。

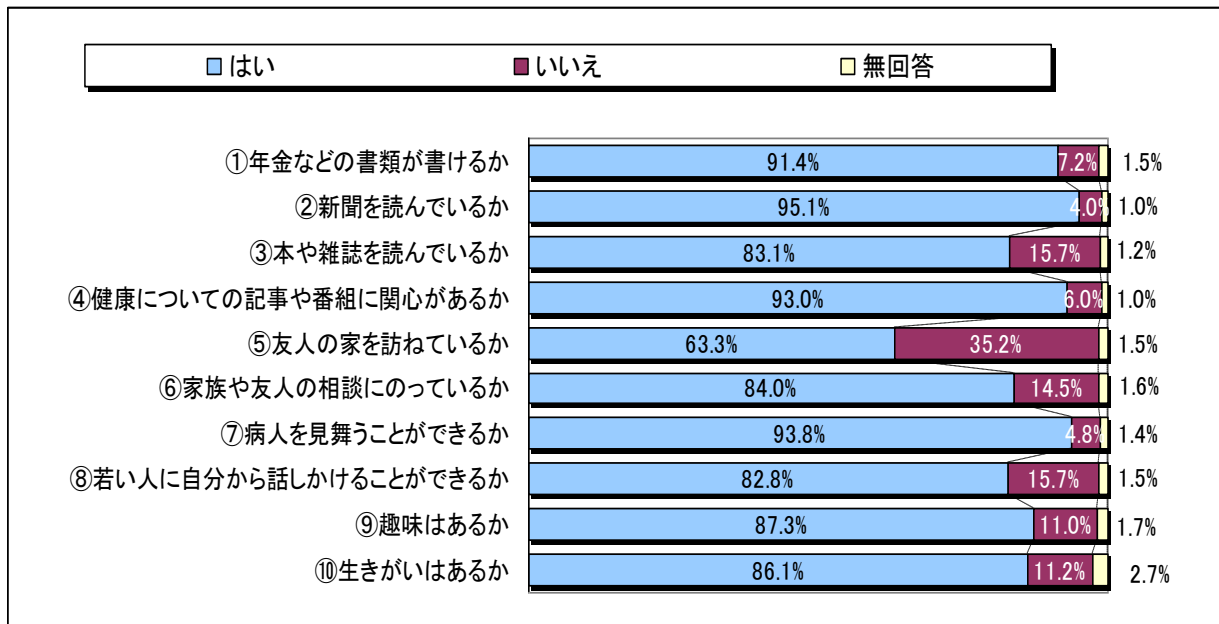
③ 自分の考えをうまく伝えられるかについて（問18）

- 人に自分の考えをうまく伝えられるかについては、“伝えられる”（「伝えられる」（86.8%）、「いくらか困難であるが、伝えられる」（10.0%）の合計）は96.8%、一方、“伝えられない”（「あまり伝えられない」（1.6%）、「ほとんど伝えられない」（0.1%）の合計）は1.7%となっている。

（6）社会参加について

① 社会参加について（問37）

- 社会参加については、下図のとおりとなっている。



（7）健康について

① 自分で健康だと思うか（問43）

- 自分で健康だと思うかについては、“健康”（「とても健康」（10.0%）、「まあまあ健康」（65.3%）の合計）は75.3%、一方、“健康でない”（「あまり健康でない」（15.9%）、「健康でない」（5.0%）の合計）は20.9%となっている。

② 現在治療中または後遺症のある病気について（問44）

- 現在治療中または後遺症のある病気については、「高血圧」（42.8%）が最も多く、次いで「目の病気」（19.7%）、「筋骨格の病気」・「心臓病」（同率14.6%）、「糖尿病」（13.6%）となっている。

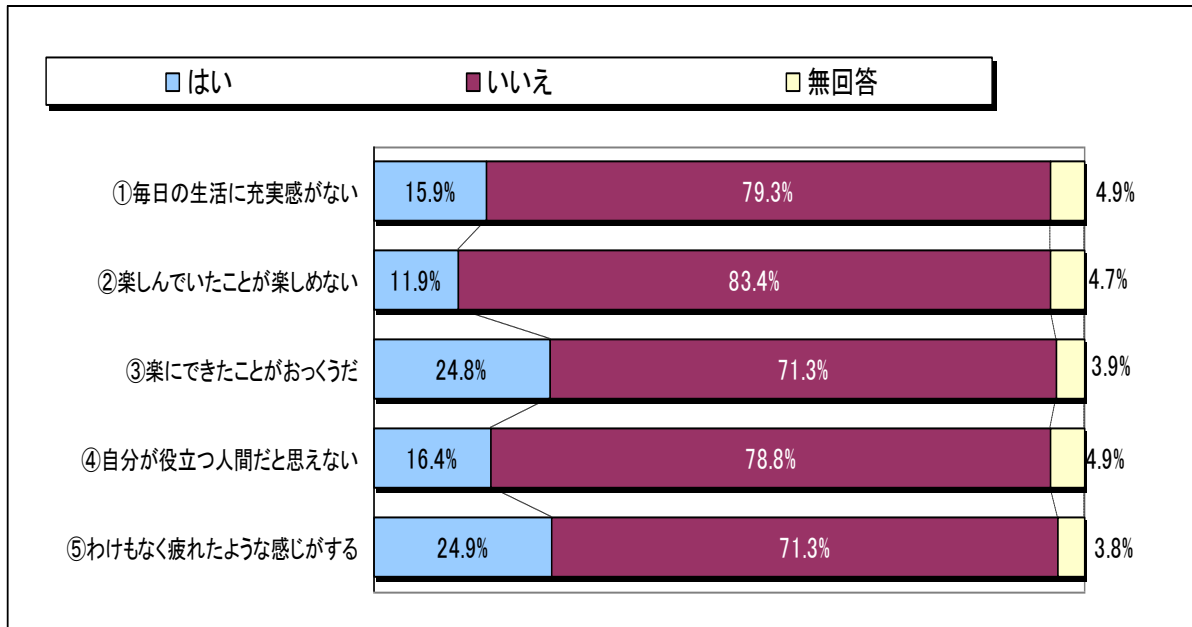
③ 病院・医院に通院しているか（問46）

- 病院・医院に通院しているかについては、「はい」が81.7%、一方、「いいえ」が15.8%となっている。

(8) 心の健康について

① 心の健康について (問48)

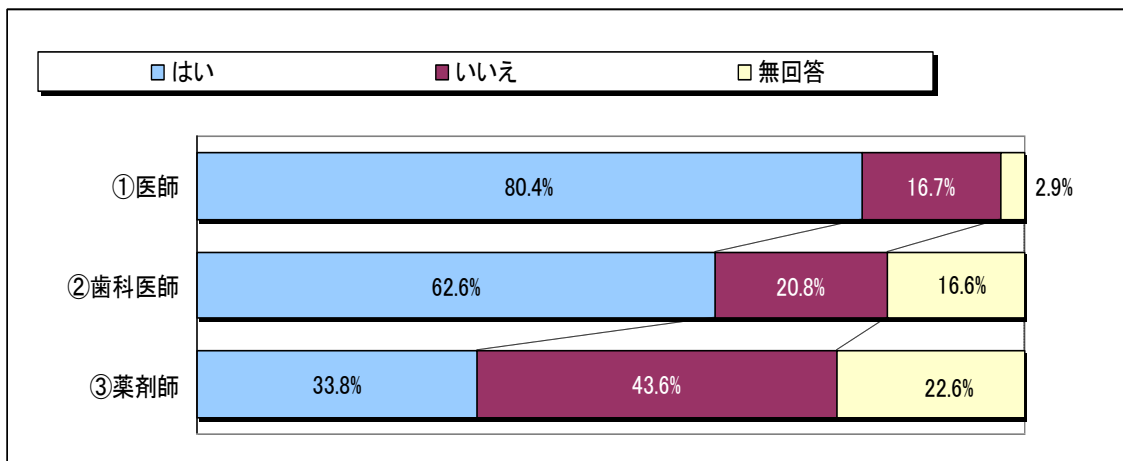
○ 心の健康について、下図のとおりとなっている。



(9) かかりつけ医について

① 普段から治療を受けたり、日常の健康相談・指導を受けることができる、かかりつけの医師等がいるか (問50)

○ かかりつけの医師等がいるかどうかについては、下図のとおりとなっている。



② 自宅で訪問診療を受けているか (問50)

○ 自宅で訪問診療を受けているかについては、「受けていない」が 95.9%、一方、「受けている」が 1.0%となっている。

(11) 成年後見制度について

① 成年後見制度について（問52）

○ 成年後見制度については、「知っている」が63.3%、一方、「知らない」が31.1%となっている。

② 成年後見制度の利用意向（問52-1）

○ 成年後見制度の利用意向については、「利用したいと思わない」が52.1%、「利用したいと思う」が10.4%となっている。なお、「わからない」は36.5%となっている。

(12) 日常生活自立支援事業について

① 日常生活自立支援事業について（問53）

○ 日常生活自立支援事業については、「知っている」が51.2%、一方、「知らない」が43.1%となっている。

② 日常生活自立支援事業の利用意向（問53-1）

○ 日常生活自立支援事業の利用意向については、「利用したいと思わない」が49.3%、「利用したいと思う」が12.7%となっている。なお、「わからない」は37.3%となっている。

(13) 地域包括支援センターについて

① 地域包括支援センターについて（問60）

○ 地域包括支援センターについては、「知らない」が61.8%、一方、「知っている」が33.1%となっている。

② 担当の地域包括支援センターについて（問60-1）

○ 担当の地域包括支援センターについては、「知っている」が73.9%、「知らない」が23.9%となっている。

③ 地域包括支援センターを何で知ったか（問60-2）

○ 「地域包括支援センターの事業等の活動」(31.0%)が最も多く、次いで「チラシ」(24.9%)、「知人等、人から聞いた」(13.0%)、「その他」(11.9%)、「ホームページ」(5.9%)となっている。

④ 地域包括支援センターの名称変更について（問61）

○ 「必要である」が18.9%、「必要でない」が15.2%、「どちらでもない」が44.8%となっている。

③：介護サービス利用状況実態調査（利用者）

（１）あなたご自身について

① 家族構成（問５）

- 回答者の家族構成は、「本人のみの世帯」（34.7％）が最も多く、次いで「本人と配偶者の世帯」（25.7％）、「本人と子などとの同居世帯」（22.6％）、「本人と配偶者及び子などとの同居世帯」（9.2％）、「その他」（7.3％）となっている。

② 認定された介護度（問６）

- 認定された介護度は、「要介護１」（22.9％）が最も多く、次いで「要支援２」（22.4％）、「要介護２」（20.7％）、「要支援１」（17.7％）、「要介護３」（6.8％）、「要介護４」（3.6％）、「要介護５」（1.9％）となっている。なお、「わからない」は1.6％となっている。

③ 主たる介護者と本人との関係（問７）

- 主たる介護者は、「子」（33.2％）が最も多く、次いで「配偶者」（28.6％）、「特に介護者はいない」（14.1％）、「その他」（10.6％）、「子の配偶者」（7.3％）、「兄弟・姉妹」（1.4％）となっている。

④ 主たる介護者の状況（問７－１）

- 主たる介護者の状況は、「特に問題はない」（34.7％）が最も多く、次いで「介護者が高齢・病弱等」（28.3％）、「仕事、子育てのため十分介護できない」（18.5％）、「その他」（9.9％）となっている。

（２）介護保険制度について

① 負担している介護保険料の負担感について（問１５）

- 介護保険料の負担感は、“大きい”（「負担感は大きい」（29.5％）と「やや大きい」（26.7％）の合計）は56.2％、一方、“小さい”（「やや小さい」（1.2％）と「小さい」（1.9％）の合計）は3.1％となっている。なお、「適当である」は33.9％となっている。

② 介護保険についての要望（問１９）

- 今後、介護保険について要望することは、「介護保険料の軽減」（45.1％）が最も多く、次いで「利用料の軽減」（33.9％）、「介護保険施設の新設・増設」（28.3％）、「サービスの質の向上を図る」（17.0％）、「ケアプラン作成・サービス事業者に関する情報提供」（14.8％）、「サービス提供量の増加」（14.1％）となっている。

③ 介護保険制度全般に対する満足度（問２０）

- 介護保険制度全般の満足度については、“満足している”（「満足している」（12.2％）と「おおむね満足している」（35.2％）の合計）は47.4％、一方、“不満である”（「やや不満である」（15.6％）と「不満である」（4.0％）の合計）は19.6％となっている。なお、「どちらともいえない」は29.0％となっている。

（３）介護保険サービス等について

① 現在利用している介護保険サービス等（問２１）

- 現在利用している介護保険サービス等は、「通所介護」(35.4%)が最も多く、次いで「訪問介護」(25.9%)、「福祉用具貸与」(24.1%)、「通所リハビリテーション」(24.0%)、「住宅改修費支給」(15.3%)、「特定福祉用具販売」(9.0%)となっている。

(4) 成年後見制度等について

① 成年後見制度について(問31)

- 成年後見制度については、「知らない」が46.5%、一方、「知っている」が46.0%となっている。

② 成年後見制度の利用意向(問31-1)

- 成年後見制度の利用意向については、「利用したいと思わない」が52.1%、「利用したいと思う」が12.8%となっている。なお、「わからない」は31.7%となっている。

③ 日常生活自立支援事業について(問32)

- 日常生活自立支援事業については、「知らない」が59.5%、一方、「知っている」が29.7%となっている。

④ 日常生活自立支援事業の利用意向(問32-1)

- 日常生活自立支援事業の利用意向については、「利用したいと思わない」が50.3%、「利用したいと思う」が15.2%となっている。なお、「わからない」は33.2%となっている。

(5) 地域包括支援センターについて

① 地域包括支援センターについて(問33)

- 地域包括支援センターについては、「知っている」が47.4%、一方、「知らない」が46.0%となっている。

② 担当の地域包括支援センターについて(問33-1)

- 担当の地域包括支援センターについては、「知っている」が92.3%、「知らない」が5.5%となっている。

③ 地域包括支援センターを何で知ったか(問33-2)

- 「地域包括支援センターの事業等の活動」(38.1%)が最も多く、次いで「その他」(20.1%)、「知人等、人から聞いた」(18.7%)、「チラシ」(10.3%)、「ホームページ」(2.6%)となっている。

④ 地域包括支援センターの名称変更について(問34)

- 「必要である」が20.7%、「必要でない」が17.7%、「どちらでもない」が43.8%となっている。

(6) 今後の高齢者保健福祉施策について

① 特に力を入れるべき高齢者保健福祉施策について(問35)

- これからの高齢者保健福祉施策で市が力を入れていくべきものについては、「家族の介護負担を軽減するための施策の充実」(49.1%)が最も多く、次いで「ひとり暮らし高齢者への支援」(40.1%)、「特養ホーム、有料老人ホーム等の建設の促進」・「判断能力が低下した場合の支援」(同率36.1%)、「認知症高齢者への支援」(35.6%)、「低所得

者などへの経済的支援」(35.1%)となっている。

④：介護保険サービス利用状況実態調査（未利用者）

（１）あなたご自身について

① 家族構成（問５）

○ 家族構成は、「本人と配偶者の世帯」(32.0%)が最も多く、次いで「本人のみの世帯」(29.2%)、「その他」(13.6%)、「本人と子どもなどの同居世帯」(12.7%)、「本人と配偶者及び子どもなどの同居世帯その他」(9.9%)となっている。

② 認定された介護度（問６）

○ 認定された介護度は、「要支援１」(28.9%)が最も多く、次いで「要介護１」(19.9%)、「要支援２」(17.7%)、「要介護２」(9.7%)、「要介護４」(6.5%)、「要介護３」(5.8%)、「要介護５」(3.5%)、「わからない」(3.5%)となっている。

③ 主たる介護者と本人との関係（問７）

○ 主たる介護者は、「配偶者」(30.4%)が最も多く、次いで「子」(20.5%)、「特に介護者はいない」(15.8%)、「その他」(16.9%)、「子の配偶者」(3.7%)、「兄弟・姉妹」(2.8%)となっている。

④ 主たる介護者の状況（問７－１）

○ 主たる介護者の状況は、「介護者が高齢・病弱等」(42.9%)が最も多く、次いで「特に問題はない」(36.7%)、「仕事、子育てのため十分介護できない」(10.4%)、「その他」(5.5%)となっている。

（２）介護保険制度について

① 負担している介護保険料の負担感について（問１５）

○ 介護保険料の負担感は、「大きい」（「負担感は大きい」(36.5%)と「やや大きい」(31.3%)の合計）は67.8%、一方、「小さい」（「やや小さい」(0.2%)と「小さい」(0.2%)の合計）は0.4%となっている。なお、「適当である」は23.6%となっている。

② 介護保険についての要望（問１９）

○ 今後、介護保険について要望することは、「介護保険料の軽減」(47.3%)が最も多く、次いで「介護保険施設の新設・増設」(35.2%)、「利用料の軽減」(31.8%)、「ケアプラン作成・サービス事業者に関する情報提供」(18.8%)、「サービスの質の向上を図る」(17.3%)、「サービス提供量の増加」(12.7%)、「市に苦情、相談の専用窓口を設ける」(10.8%)、「民間の苦情処理監視機関を設ける」(4.5%)、「その他」(5.8%)となっている。

③ 介護保険制度全般に対する満足度（問２０）

○ 介護保険制度全般について満足度については、「満足している」（「満足している」(5.8%)と「おおむね満足している」(28.5%)の合計）は34.3%、一方、「不満である」（「やや不満である」(13.8%)と「不満である」(5.8%)の合計）は19.6%となっている。なお、「どちらともいえない」は39.1%となっている。

(3) 介護保険サービスについて

① 今後利用したい介護保険サービス（問23）

- 今後利用したい介護保険サービスは、「養護老人ホーム」(15.3%)が最も多く、次いで「訪問介護」(13.6%)、「介護老人福祉施設」(11.0%)、「福祉用具貸与」(10.8%)、「訪問入浴介護」・「介護療養型医療施設」(同率10.1%)となっている。
なお、「その他」が16.6%となっている。

(4) 成年後見制度等について

① 成年後見制度について（問24）

- 成年後見制度については、「知らない」が52.7%、一方、「知っている」が40.2%となっている。

② 成年後見制度の利用意向（問24-1）

- 成年後見制度の利用意向については、「利用したいと思わない」が39.4%、「利用したいと思う」が15.7%となっている。なお、「わからない」は39.4%となっている。

③ 日常生活自立支援事業について（問25）

- 日常生活自立支援事業については、「知らない」が62.2%、一方、「知っている」が28.9%となっている。

④ 日常生活自立支援事業の利用意向（問25-1）

- 日常生活自立支援事業の利用意向については、「利用したいと思わない」が36.1%、「利用したいと思う」が20.6%となっている。なお、「わからない」は40.6%となっている。

(5) 地域包括支援センターについて

① 地域包括支援センターについて（問26）

- 地域包括支援センターについては、「知らない」が53.3%、一方、「知っている」が34.3%となっている。

② 担当の地域包括支援センターについて（問26-1）

- 担当の地域包括支援センターについては、「知っている」が81.0%、「知らない」が14.1%となっている。

③ 地域包括支援センターを何で知ったか（問26-2）

- 「センターの事業等活動」(26.1%)が最も多く、次いで「知人等、人から聞いた」(25.5%)、「その他」(19.6%)、「チラシ」(12.5%)、「ホームページ」(5.4%)となっている。

④ 地域包括支援センターの名称変更について（問27）

- 「必要である」が20.3%、「必要でない」が13.4%、「どちらでもない」が45.6%となっている。

(6) 今後の高齢者保健福祉施策について

① 特に力を入れるべき高齢者保健福祉施策について（問28）

- これからの高齢者保健福祉施策で市が力を入れていくべきものについては、「家族の介護負担を軽減するための施策の充実」（42.6%）が最も多く、次いで「ひとり暮らし高齢者への支援」（38.2%）、「認知症高齢者への支援」（37.8%）、「特養ホーム、有料老人ホーム等の建設の促進」（34.3%）、「低所得者などへの経済的支援」（34.1%）、「判断能力が低下した場合の支援」（30.9%）、「介護保険以外の市の保健福祉サービス」（29.1%）「情報提供や相談体制の充実」（27.9%）、「24時間切れ目のない介護サービス」（26.3%）となっている。

⑤：介護サービス利用状況等調査（要介護高齢者）

（１）ご自身のことについて

①認定された介護度（問６）

○ 要介護度は、「要介護５」（34.0％）が最も多く、次いで「要介護４」（32.3％）、「要介護３」（31.4％）、「わからない」（0.7％）となっている。

②主たる介護者と本人との関係（問７）

○ 主たる介護者は、「子」（31.4％）が最も多く、次いで「配偶者」（30.6％）、「その他」（22.0％）、「子の配偶者」（6.4％）、「特に介護者はいない」（2.4％）、「兄弟・姉妹」（1.2％）となっている。

③主たる介護者の状況（問７－１）

○ 主たる介護者の状況は、「介護者が高齢・病弱等」（48.6％）が最も多く、次いで「特に問題はない」（24.4％）、「仕事、子育てのため十分介護できない」（16.2％）、「その他」（6.2％）となっている。

（２）介護保険制度について

①介護保険料の負担感について（問１５）

○ 介護保険料の負担感は、“大きい”（「負担感は大きい」（30.6％）と「やや大きい」（28.1％）の合計）は58.7％、一方、“小さい”（「やや小さい」（0.5％）と「小さい」（0.7％）の合計）は1.2％となっている。なお、「適当である」は32.8％となっている。

② 介護保険についての要望（問１９）

○ 今後、介護保険について要望することは、「利用料の軽減」（41.5％）が最も多く、次いで「介護保険料の軽減」（41.1％）、「介護保険施設の新設・増設」（40.3％）、「サービスの質の向上を図る」（24.0％）、「ケアプラン作成・サービス事業者に関する情報提供」（16.7％）となっている。

③ 介護保険制度全般に対する満足度（問２０）

○ 介護保険制度全般について満足しているかたずねたところ、“満足している”（「満足している」（7.5％）と「おおむね満足している」（32.6％）の合計）は40.1％、一方、“不満である”（「やや不満である」（12.8％）と「不満である」（6.1％）の合計）は18.9％となっている。なお、「どちらともいえない」は30.4％となっている。

（３）介護保険サービス等について

① 現在利用中の介護保険サービス等（問２１）

○ 現在利用中の介護保険サービス等は、「福祉用具貸与」（31.6％）が最も多く、次いで「通所介護」（24.8％）、「介護老人福祉施設」（22.0％）「訪問介護」（14.8％）、「介護老人保健施設」（13.7％）、「住宅改修費支給」（12.8％）、「通所リハビリテーション」・「訪問看護」（同率12.3％）となっている。

(4) 成年後見制度等について

① 成年後見制度について（問3 1）

○ 成年後見制度については、「知っている」が49.5%、一方、「知らない」が39.9%となっている。

② 成年後見制度の利用意向（問3 1-1）

○ 成年後見制度の利用意向については、「利用したいと思わない」が46.3%、「利用したいと思う」が16.5%となっている。なお、「わからない」は33.7%となっている。

③ 日常生活自立支援事業について（問3 2）

○ 日常生活自立支援事業については、「知らない」が57.3%、一方、「知っている」が28.3%となっている。

④ 日常生活自立支援事業の利用意向（問3 2-1）

○ 日常生活自立支援事業の利用意向については、「利用したいと思わない」が46.0%、「利用したいと思う」が19.6%となっている。なお、「わからない」は29.4%となっている。

(5) 地域包括支援センターについて

① 地域包括支援センターについて（問3 3）

○ 地域包括支援センターについては、「知らない」が45.8%、一方、「知っている」が43.6%となっている。

② 担当の地域包括支援センターについて（問3 3-1）

○ 担当の地域包括支援センターについては、「知っている」が79.7%、「知らない」が19.1%となっている。

③ 地域包括支援センターを何で知ったか（問3 3-2）

○ 「センターの事業等活動」(25.1%)が最も多く、次いで「知人等、人から聞いた」(20.3%)、「その他」(18.3%)、「チラシ」(16.7%)、「ホームページ」(6.8%)となっている。

④ 地域包括支援センターの名称変更について（問3 4）

○ 「必要である」が21.4%、「必要でない」が11.8%、「どちらでもない」が48.3%となっている。

(6) 今後の高齢者保健福祉施策について

① 特に力を入れるべき高齢者保健福祉施策について（問3 5）

○ これからの高齢者保健福祉施策で市が力を入れていくべきものについては、「家族の介護負担を軽減するための施策の充実」(54.3%)が最も多く、次いで「特養ホーム、有料老人ホーム等の建設の促進」(42.0%)、「認知症高齢者への支援」(40.3%)、「ひとり暮らし高齢者への支援」(39.8%)、「低所得者などへの経済的支援」(36.3%)、「介護保険以外の市の保健福祉サービス」(36.1%)となっている。

⑥：事業所における介護労働実態調査

①事業所の状況（問１－１）

○ 事業所の平均従業員数は、53.8人で、前回調査結果の59.4人から5.6人の減少となっている。

また、回答のあった69事業所（3,714人（正職員と非正職員の合計））の正職員と非正職員の状況は、正職員が2,127人（57.3%）で、非正職員が1,567人（42.2%）となっており、非正職員が前回の調査結果（43.8%）と比べて割合を下げている。

（※ 非正職員数については3事業所が無回答）

職員のうち、介護保険の指定介護サービス事業に従事する従業員数についてみると、回答のあった68事業所（2,492人）の正職員と非正職員の状況は、正職員が1,372人（55.1%）で、非正職員が1,190人（47.8%）となっており、前回調査結果（各48.8%、51.2%）と比べて、正職員がその割合を上げている。

（※ 非正職員数については9事業所が無回答）

②派遣労働者の受入れ状況（問１－２）

○ 派遣労働者の受け入れ状況をみると、「受け入れていない」が92.8%と大多数を占めている。

③採用及び離職の状況（問４）

○ 訪問介護員では、1年間の採用者数は、正職員で34名、常勤労働者で18名、離職者数は正職員で20名、常勤労働者で8名となっている。

また、訪問介護職員以外の介護職員では、採用者が正職員で179名、常勤労働者で208名、離職者数が正職員で126名、常勤労働者で146名となっている。

④雇用保険・社会保険等への加入状況（問１６）

○ 直接介護に当たる職員で、加入資格等のある人の雇用保険・社会保険等への加入状況をみると、雇用保険については、訪問介護員の正職員を全員加入させている事業所は85.2%、同じく常勤労働者を全員加入させている事業所は85.7%となっており、前回調査結果（各100.0%、73.3%）と比べて、常勤労働者については割合が高くなっている。一方、訪問介護員の非定型的短時間労働者では「加入していない」と回答した事業所が30.0%となっており、その割合は前回調査結果（33.3%）よりも低くなっている。

健康保険・厚生年金は雇用保険と同様に、訪問介護員の正職員を全員加入させている事業所は81.5%で、同じく常勤労働者を全員加入させている事業所は50.0%となっており、訪問介護員の非定型的短時間労働者では「加入していない」と回答した事業所の割合が60.0%となっている。

⑤従業員の定着状況と定着促進の方策（問１８）

○ 事業所における従業員の定着状況をみると、「定着率は低くない」と回答した事業所が72.5%（前回65.4%）で、前回調査より7.1%上昇している。

なお、「定着率が低く困っている」との回答した事業所については、17.4%（前回調査結果14.1%）となっている。

早期離職者の防止や定着促進のための方策をみると、複数回答で、「職場内の交流を

深め、コミュニケーションの円滑化を図る」としている事業所が 58.0%と最も多く、次いで「労働時間の希望を聞く」(49.3%)、「賃金・労働時間等の労働条件を改善する」(44.9%)と続き、上位3位は前回調査と同じ結果となっている。

⑥運営上の問題点（問19）

- 介護保険の指定介護サービス事業を運営する上での問題点としては、複数回答で、「今の介護報酬では十分な賃金を払うことができない」が 69 事業所中（複数回答）の 56.5%と最も多く、次いで「サービスの書類作成が煩雑で、時間に追われる」・「良質な人材の確保が難しい」（同率 47.8%）と続き、上位3位は前回調査と同じ結果となっている。

⑦：介護労働者の就業実態と就業意識調査

①給与等の支払形態（問8）

- 「月給」が58.9%と最も多く、「時間給」が34.8%、「日給」が2.1%になっており、「月給」の割合が前回調査結果（69.2%）と比べて10.3ポイント低下している。

②年 収（問10）

- 昨年1年間の収入をみると、「103万円未満」（18.9%）、「130万円以上200万円未満」（19.2%）、「200万円以上300万円未満」（26.6%）が20%前後となっている。
また、「300万円以上400万円未満」が9.8%、「400万円以上」が3.1%となっている。

③仕事について（問12）

- 「現在の仕事を選んだ理由」としては、複数回答で、「働きがいのある仕事だと思った」（49.8%）と「資格・技能を生かすため」（37.8%）が多くなっている。

④現在の仕事の満足度（問13）

- 現在の仕事の満足度については、満足とする率（満足+やや満足）の高い項目は「仕事の内容・やりがい」（48.9%）、「職場の人間関係・コミュニケーション」（38.0%）、「職場の環境」（34.6%）の3項目が多く、一方、不満とする率（やや不満+不満）については「賃金」が51.5%と最も高くなっている。

⑤今の仕事の継続意思（問15）

- 仕事の継続意志をみると、「働き続けられるかぎり」とする人が45.4%と最も多くなっている。今の勤務先での継続意思については、「できる限り勤め続けたい」が28.0%となっている。

⑥労働条件等の悩み、不安、不満等（問16）

- 労働条件・仕事の負担についての悩み、不安、不満等を感じていることとしては、複数回答で、「仕事内容の割に賃金が低い」（54.4%）が最も多く、次いで「人手が足りない」（46.3%）、「身体的負担が大きい」（41.7%）があげられている。

4 まとめ（比較等含む）

①から⑦までの調査について、全体的なまとめ等は以下のとおりである。

（1）まとめ

ア ①日常生活圏域ニーズ（要介護度2以下）及び②日常生活圏域ニーズ（一般高齢者）調査

要介護2以下の調査において、家族構成についてたずねた質問では、「一人暮らし」と31.1%が回答しており、軽度の要介護認定者が比較的自立している様子が見える。

運動や外出、買物の頻度など日常の行動については、要介護2以下の方より一般高齢者の方が比較的活発であるという状況であり、概ね予想できる傾向となっている。

さらに、心の健康についてみると、要介護2以下では「わけもなく疲れたような感じがする」という項目について「はい」が50.9%など認知症予防・支援のリスクがあると思われる方が一般高齢者より多くみられる傾向にある。

イ ③介護サービス利用実態調査（利用者）及び④介護サービス利用実態状況調査（未利用者）

サービス利用者の回答については、介護者で「子」、状況も「特に問題はない」が最も多くなっているが、未利用者については、介護者で「配偶者」、状況も「介護者が高齢・病弱等」が最も多くなっていることから、未利用者を介護する家族の負担が大きくなっている状況が見える。介護保険料の負担感については、サービス利用者の29.5%が“負担感は大い”と回答しているのに対し、サービス未利用者では36.5%となっており、サービス未利用者の負担感がやや上回っている。これは高齢者の所得は公的年金等が中心であり、医療保険等も含め、社会保険料全般が上昇傾向にあるため負担感が大きくなっていることが要因となっているものと考えられる。

また、介護保険制度全般に対する満足度は、サービス利用者では47.4%、サービス未利用者では34.3%とサービス利用者の満足度がやや上回っている。

ウ ⑤介護サービス利用状況等調査（要介護高齢者）

主たる介護者は「子」が31.4%で最も多く、「配偶者」が30.6%で続いているが、介護者の状況は「介護者が高齢・病弱等」が48.6%と約半数を占めており、介護者である「子」の高齢化による負担が大きくなってきていることが見える。

介護保険料の負担感については、30.6%が“負担感は大い”と回答する一方、32.8%が“適当である”と回答していることから、要介護度3以上の比較的重度の方においては、サービス未利用者ほど負担感が大きくはないことが見える。

なお、介護保険制度全般に対する満足度は、40.1%にとどまっている

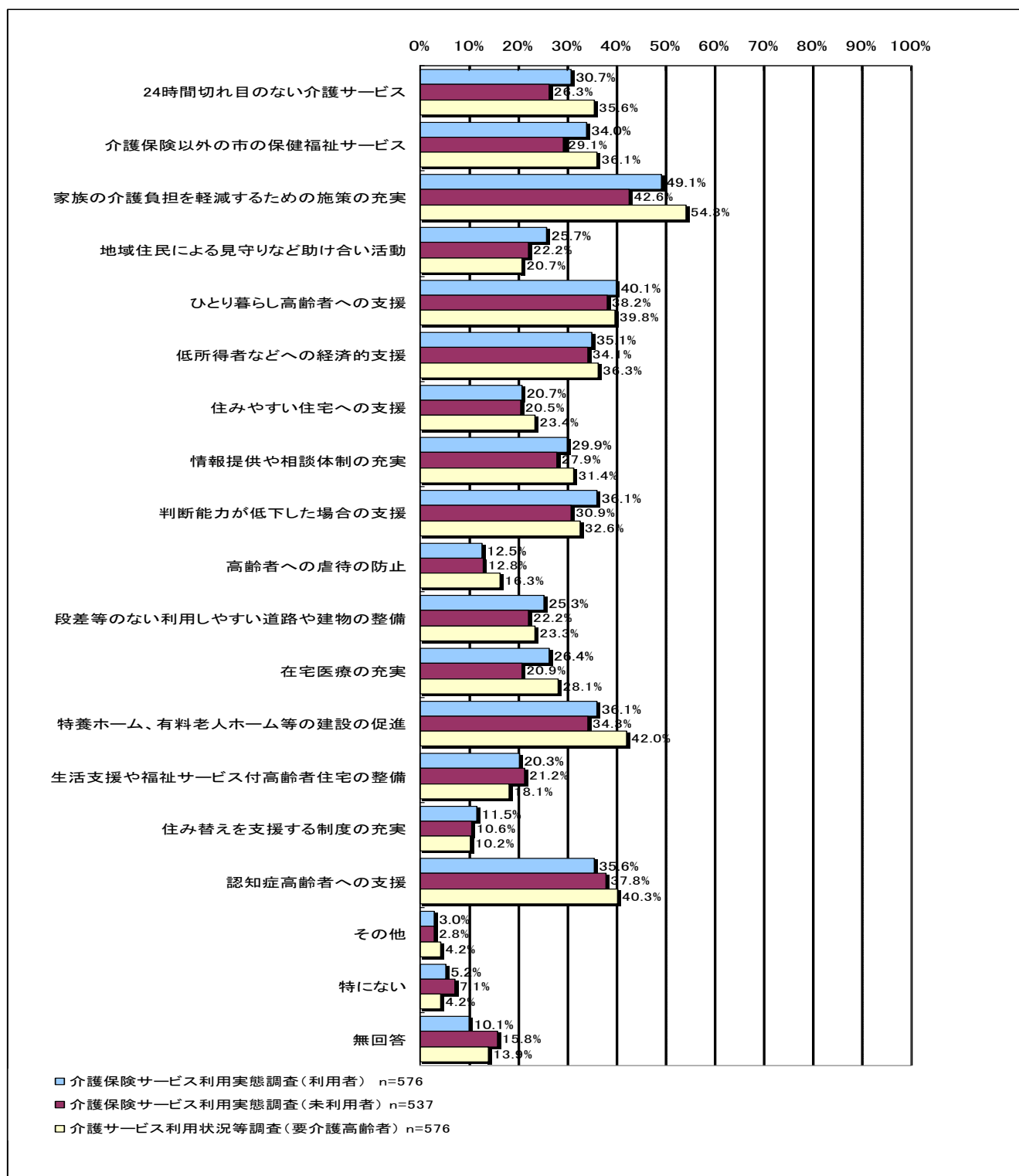
エ ⑥介護事業者調査及び⑦介護労働者調査

介護事業者調査において、3年前の調査との比較によると、介護保険の指定介護サービス事業に従事する従業員数のうち、正社員の割合が増加傾向（前回 48.8%、今回 57.3%）にあり、事業所における従業員の定着状況についても「従業員の定着率は低い」との割合に増加傾向（前回 65.4%、今回 72.5%）がみられ、また、介護労働者調査においても、給与等の支払い形態についてたずねた質問で「月給」の割合が減少しているが（前回 69.2%、今回 58.9%）、一方で、正社員、非正規の雇用形態を問わず、約半数の事業所で勤務年数や資格取得を要素とする基本給の見直しを行なっていることから、定着率向上に向け、介護事業者や介護労働者を取り巻く環境の改善に取り組んでいることがうかがえる。

(2) 共通質問比較

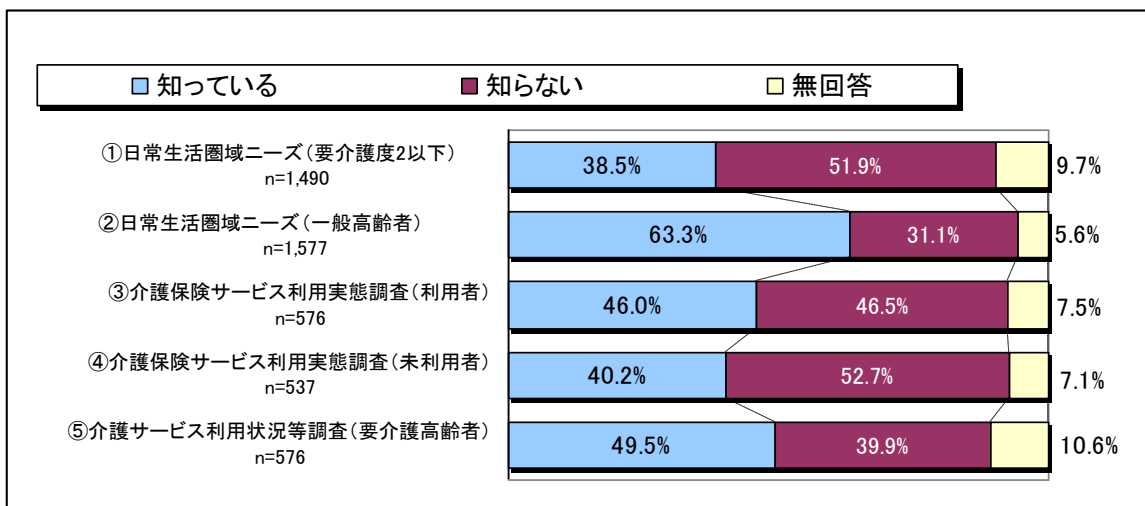
【今後力を入れるべき高齢者保健福祉施策について（複数回答）】

各調査とも、「家族の介護負担を軽減するための施策の充実」への要望が多くみられる。サービス利用者、未利用者では「ひとり暮らし高齢者への支援」、要介護3以上の要介護高齢者では「特養ホーム、有料老人ホーム等の建設の促進」への要望も多い。



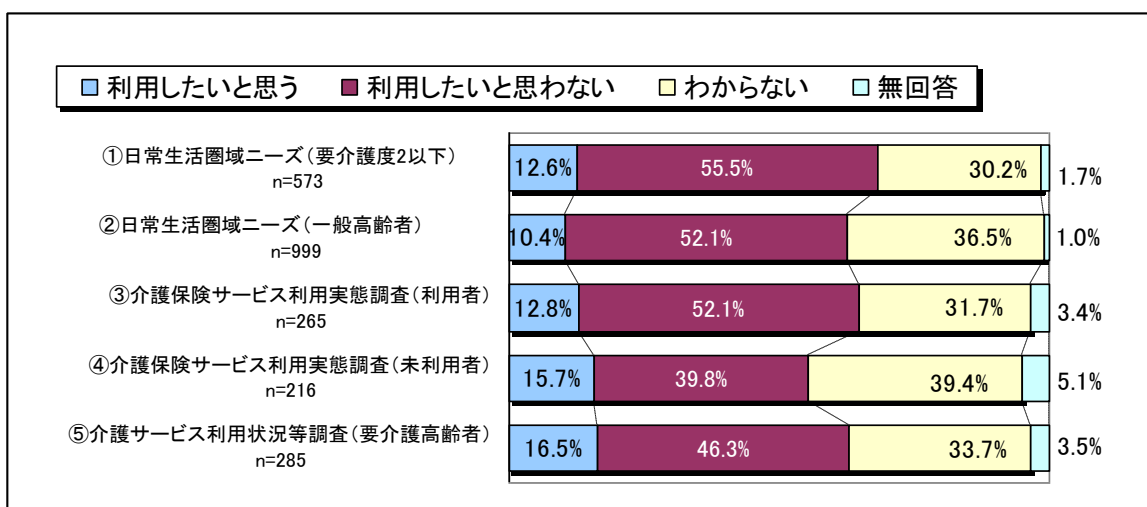
【成年後見制度の認知度について】

一般高齢者の「知っている」割合が、6割を超える。



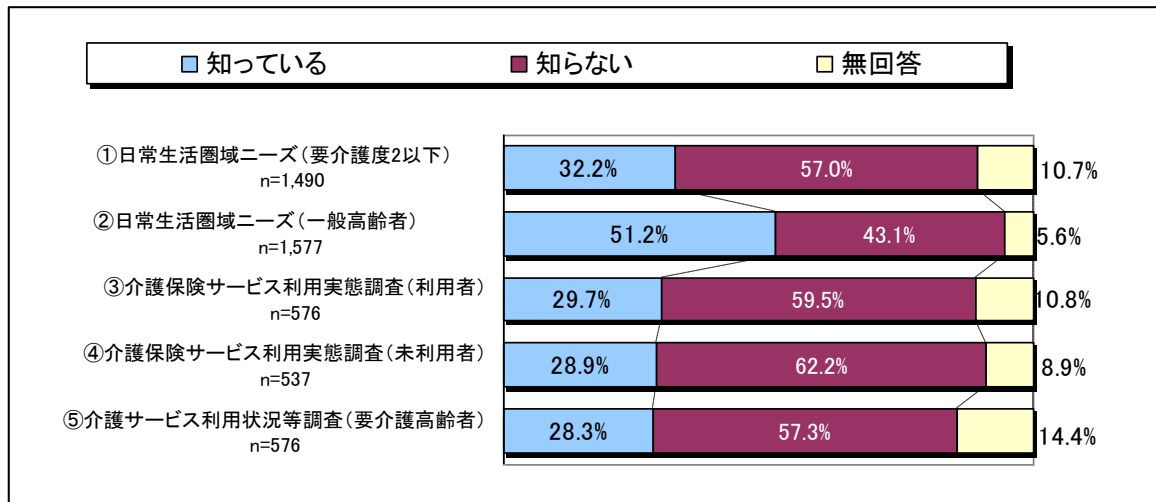
【成年後見制度を「知っている」と回答した方の利用意向について】

「利用したい」割合が、いずれも10%台となっている。



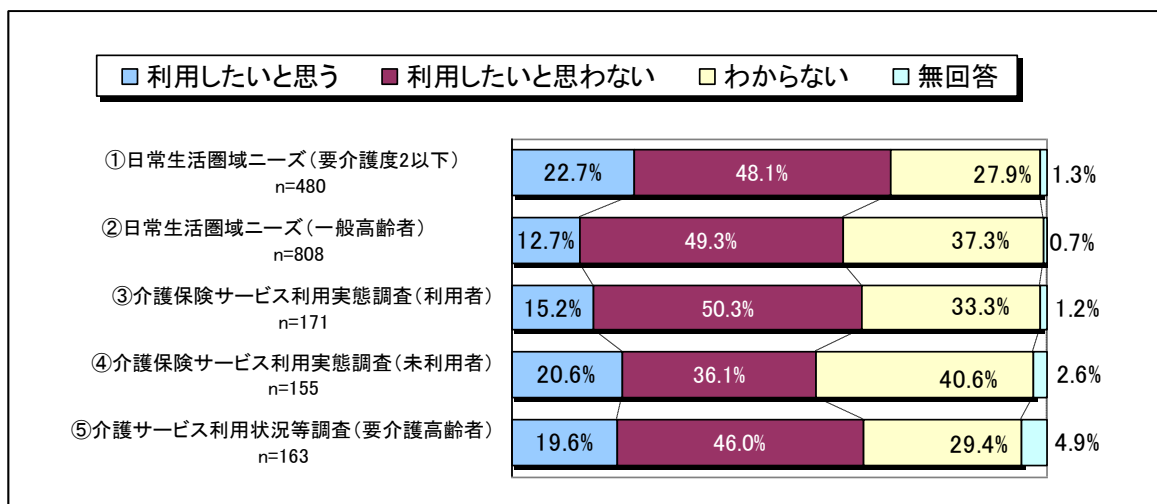
【日常生活自立支援事業の認知度について】

一般高齢者の「知っている」割合が、5割を超える。



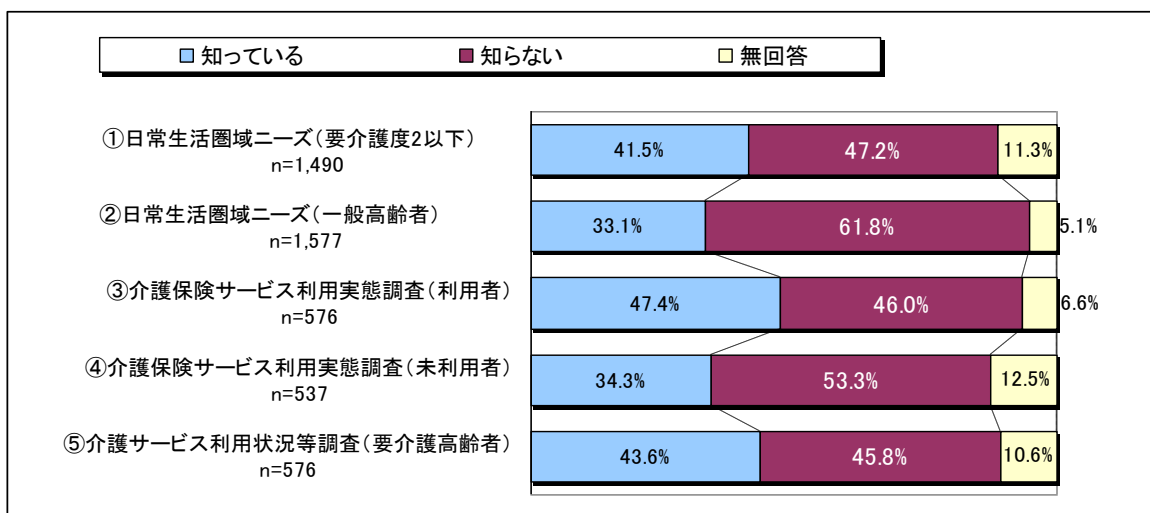
【日常生活自立支援事業を「知っている」と回答した方の利用意向について】

「利用したいと思わない」の割合が、いずれも「利用したい」を超える。



【地域包括支援センターの認知度について】

要介護度2以下、介護保険サービス利用者、要介護高齢者で、「知っている」の割合が、4割を超える。



【地域包括支援センターを「知っている」と回答した方の、知った方法】

いずれの区分も「地域包括支援センターの事業等の活動」の割合が、最多である。

